

ナガスマチ 長洲町



中逸 博光 町長

本町では、町の更なる発展に向け、定住・子育て・教育・福祉・産業分野を中心に町の特色を生かした地方創生の施策に全力で取り組み、「住みたい、住んでよかった」と思えるような魅力あるまちづくりを目指しています。

本町の地方創生の取組みにご賛同いただける企業様からの温かいご支援をお願いいたします。

- 寄付御礼
- 贈呈式開催
 - 感謝状贈呈(寄付額10万円以上)
 - 功勞者表彰推薦
 - その他
 - 地公体広報誌掲載
 - HP掲載
 - 視察受入
 - 紺綬褒章推薦

人口	面積	産業構造
総人口……15,372人 男……7,668人 女……7,704人 世帯数……6,434世帯	総面積……19.44km ² 農用地……6.75km ² (34.7%) 森林……0.34km ² (1.7%) 宅地……6.14km ² (31.6%)	第1次産業……534(0.7%) 第2次産業……52,000(66.5%) 第3次産業……25,670(32.8%) <small>生産総額:百万円</small>
人口構成比	教育機関	工業団地
15歳未満……12.0% 15~64歳……52.2% 65歳以上……35.8%	小学校……4校 中学校……2校 高等学校・高専……— 大学・専門学校他……—	長洲工業団地 名石浜工業団地



交通アクセス

- 長洲町役場まで
- 九州自動車道 南関ICから……約40分
- 菊水ICから……約40分
- JR 長洲駅から……約0.7km
- 有明フェリー 長洲港から……約1.5km

※データは令和4年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。

長洲町まち・ひと・しごと創生推進計画

住みたい、住んでよかったまちへ

(SDGs)関連するゴール



1 基本目標 しごとをつくり、安心して働けるようにする
企業誘致を始めとする地域経済の活性化、地域資源を活かした農水産業の振興、伝統産業の再生など“働く場のある町”を目指します。

2 基本目標 町とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる
空家対策をはじめ、移住促進のための情報発信を行います。また、金魚を核とした観光振興の取組等を通して関係人口の創出を図ります。

3 基本目標 結婚・出産・子育てができ、質の高い教育を受けられる
一人ひとりが活躍・参画する社会づくりの実現とともに、幼児英語教育など特色ある教育により感性豊かな子どもの育成を目指します。

4 基本目標 安全・安心に暮らすことができる魅力的なまちをつくる
宅地開発や公共交通の利便性向上など快適に生活できる住環境の実現を目指すとともに、スポーツと健康の融合による健康増進事業を推進します。

長洲町

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

1
課題
産業振興・
企業誘致

「金魚のまち長洲」を全国へ

金魚養殖の長い歴史を有する「金魚のまち」である本町では、金魚を核としたイベント開催を通して、全国に長洲町をPRしています。後継者不足等を背景とする伝統産業の衰退を打破し、全国へPRできる機会を日々求めています！



町の観光拠点となっている「金魚の館」

企業様へ
「金魚のまち長洲」を全国に広めるため、様々なアイデアをお願いします。

2
課題
過疎対策・
定住移住

生活・産業の基盤となる道路整備を早急に！

本町には造船業・サッシ業など多くの企業が立地し、幹線道路を始めとする道路の維持管理は経済活動の維持に不可欠です。また、近隣市町とつながる道路の拡張整備は経済活動だけでなく、町民の生活の利便性向上が期待できます。



一部開通した都市計画道路赤田・上沖洲線

企業様へ
生活・産業の基盤となる道路整備を早急に進めるため、ご支援をお願いします。

3
DX
課題

もっと便利に、もっと豊かに地域のデジタル化

長洲町では、町内33カ所の介護予防拠点施設を中心に、健康体操や健康講話、スマホ教室など、デジタルを活用した取組を行っています。オンライン手続などが進む中、情報格差解消を目指したサポート体制を充実する必要があります。



スマートフォン教室の様子

企業様へ
デジタルによる恩恵を町民誰もが受けられるような支援体制構築に向け、皆さまのご支援をお願いします。

4
課題
まちづくり

防犯防災に備えた地域づくりを目指します

海に面し、主に平地が広がっている本町では、豪雨や大型台風の発生に備えた多方面からの災害対策が必要となります。また、町民の安全安心な生活を守るため、町内各所への防犯カメラ設置を進めています。



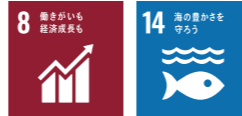
町内に設置されている防犯カメラ

企業様へ
地域防災力の向上と、登下校時の見守りを始めとする町民の安全・安心な生活に向けた防犯カメラの運営維持へご支援をお願いします。

重点プロジェクト

水産振興による地域活性化事業

〈SDGs〉関連するゴール



総事業費 18,700千円 寄附目標額 —

数値目標 ●町内企業における新規雇用者数……750人(2020年度~2024年度)

背景・現状の課題

長洲町は、多様な水生生物が生息する有明海に面しており、河川からミネラルが豊富な栄養分が流れ込む干満差の大きい有明海は、アサリや海苔などの漁場として豊かな水産資源を育てています。

近年の大雨などの影響により漁場環境が大きく変化し、特にアサリの漁獲高は著しく減少し、近年は「ゼロ」となっています。令和4年度においては、海水温上昇や強風の影響により、海苔養殖にも甚大な被害が発生し、昨今の物価高騰も重なり、漁業者の生活の安定が懸念されます。



有明海~海苔漁場~

有明海の恵みを再生し持続可能で確立した産業とするため、そして、水産資源を活かした加工食品開発などの6次産業化を通じた地域活性化、漁業者の生活安定を目指し、自然と共存した豊かで強い水産業が営まれるまちづくりを推進します。

事業の目的・内容

大学や企業、漁協などの官学民の連携による水産資源の生息環境の研究事業を行っており、漁場環境改善に向けての取組を継続的に実施します。

また、企業、漁業者と連携し、水産業の6次産業化に向け、地元水産資源を使用した商品開発を進め一次産業を担う漁業者の収入安定・事業承継につながる事業展開を進めます。



漁場環境改善事業の様子

寄附の具体的なメリット

- 社会貢献に取り組む企業としてのPR効果(SDGsの達成など)
- 地方公共団体との新たなパートナーシップの構築
- 地域資源などを活かした新事業展開

寄附申出書の事業名選択時は「水産振興による地域活性化事業」を選択してください。

重点プロジェクト

子育て・教育支援プロジェクト

〈SDGs〉関連するゴール



総事業費 32,500千円 寄附目標額 —

数値目標 ●子育て環境や支援への満足度……65%(R6)
●町内企業における男性の育児休業取得率……13%(R8)

背景・現状の課題

少子化という社会情勢の中、「こどもまんなか社会の実現」に向けてこども家庭庁が創設されるなど、子育てや教育における環境は刻々と変化し、身近で寄り添った切れ目ない支援の充実と、未来への健やかな成長に向けた教育の充実が求められています。

妊娠から出産、育児、学校生活等、子育てのそれぞれのライフステージにおける様々な悩みや相談に対応できる体制整備とともに、経済的支援や子どもたちへの教育の平等な提供を継続的に実施していく必要があります。



町内保育園・認定こども園での英語教育

事業の目的・内容

長洲町では、妊娠期から出産、育児、学校生活等のそれぞれのライフステージに応じた親・子支援に向けた子育て世代総合支援センター「はぐくみ館」の運営を行っています。また、町主体により0歳児から小学校低学年までの英語教育を実践し、中学校まで切れ目なく英語に触れる機会を創出した教育の提供や、乳幼児・小中学生への貧血スクリーニング検査による貧血の早期発見等へと資する取組を行っており、子どもたちへの継続的投資により、子どもたちの生きる力とすこやかな成長、親子ともに心豊かに夢と希望に満ちた子育てができるまちを目指します。

「はぐくみ館」では、相談支援や各種子育て教室を行っています。英語教育では、町内保育園や子育て支援センターでの歌などの遊びを通じた0歳児からの教室を町主体で行っています。そのほか、注射による採血を要しない機器による貧血スクリーニング検査や、男性の育児休業取得促進に向けての奨励金事業を実施しています。



親子ふれあい教室の様子

寄附の具体的なメリット

国が重点的な施策として取り組んでいる男性の育児休業に関し、長洲町では独自で「男性の育児休業取得促進奨励金事業」として育休取得の促進を実施しており、子育て支援の施策への支援をさせていただくことで企業イメージの向上につながると考えます。

寄附申出書の事業名選択時は「子育て・教育支援プロジェクト」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。